

令和7年11月1日

「馬の塔(オマント)馬道具保存の会」の設立について

このことについて、「早く進めて欲しい」との声が年長者を中心に多く寄せられていることから、7年度の白山神社総代長・区長を発起人として、区民の有志による「馬の塔(オマント)馬道具保存の会」を令和7年11月1日に立ちあげました。

現在の馬道具の管理者は、区画整理で島から丁目になったことにより、馬道具の管理者が平成30年度より各島の町内会から神社役員に移されました。

馬道具の管理方法としては、限られた神社役員のみでは、神社倉庫の保管箱に入れ、一年に1回馬道具の一部だけ取り出して陰干しをしているのが現状であり、このままの状態であれば近い将来喪失することは目に見えていました。

そこで、6年度に白山神社において「村里の小さな神社」本(11月3日発行)、馬道具展示会の開催(令和6年11月2日～4日)などの啓発活動を行い、区民にアンケートをとった結果、廃棄を希望する人は一人もなく、保存は区民の総意でありました。

そして、6年度(昨年度)白山神社総会での議題に上げた結果は下記のとおりでした。

議題 馬道具等貴重品展示室建設に向けて

- ・保管については松河戸住民の総意でもあり、展示室建設に向けて進める。
- ・展示室というイメージではなく、展示保管庫というイメージとする、よって、展示保管庫建設とする。
- ・神社は無人であるため、展示は白山神社の祭礼時に行う。
- ・令和7年度は準備期間(資料の整理等)
- ・建設規模内容については、建設を8年度以降を予定しているため、7年度以降検討していく。

「6年度白山神社氏子会通常総会結果において」7年3月25日付で回覧 原文のまま

「馬の塔(オマント)馬道具保存の会」設立の趣旨

そして、神社総代、区長等で話し合った結果

区会や神社が相互で検討を進めるより、区民の有志によって進めるのが効率的である。

との結論により、「馬の塔(オマント)馬道具保存の会」の設立に至りました。

区民の皆様のご協力をお願いいたします。